

第 12 期（2021 年度）日本図書館協会認定司書審査会第 1 回議事録

2021 年 7 月 17 日（土）

13:30～15:50

公益社団法人日本図書館協会

審査会委員 6 名出席、事業委員会委員 7 名陪席

配布資料

資料 1 日本図書館協会認定司書審査会、日本図書館協会認定司書事業委員会

資料 2 第 11 期（2020 年度）日本図書館協会認定司書審査会第 2 回議事録（案）（公開用記録）

資料 2 参考資料 同（案）（委員会事務用記録）

資料 3 認定司書事業委員会規程

資料 4 日本図書館協会認定司書審査要領（案）

資料 5 日本図書館協会認定司書の審査に関する申し合わせ

資料 6 第 11 期（2020 年度）認定司書名簿及び審査（報告）

資料 7 第 12 期 日本図書館協会認定司書事業スケジュール

資料 8 第 12 期認定司書審査の枠組みについて

資料 9-1 申請書類一式 新規用

資料 9-2 申請書類一式 更新用

1 認定司書事業委員会委員長あいさつ（大谷委員長）

2 認定司書審査会委員の紹介（資料 1）

審査会委員は以下の 6 名。

秋本 敏 委員

糸賀 雅児 委員

植田 佳宏 委員

大谷 康晴 委員

呑海 沙織 委員

鎗水三千男 委員

3 認定司書事業委員会委員の紹介（資料 1）

事業委員会委員は以下の 8 名。

青野 正太 委員

石原 真理 委員

大谷 康晴 委員長

長谷川拓哉 委員

府川 智行 委員

松原 伸直 委員

松本 直樹 委員

三浦なつみ 委員

4 認定司書審査会会長の選任

糸賀委員が審査会会長に選任された。

5 第 11 期認定司書審査会(第 2 回)議事録の確認(資料 2)

公開用議事録、委員会事務用記録を提示。

申請のあった 24 名(新規 16 名、更新 8 名)について、審査を行い、協議した結果を含め、認定司書候補として 18 名(新規 12 名、更新 6 名)を認定したことを確認した。

また、審査料について、7,000 円から 7,500 円に改定することを承認したことを確認した。

6 規程類について(資料 3、4、5)

「審査要領」の「別表 認定等に要する費用」の審査料の項を 7,500 円に改めることが説明された。

また、「審査に関する申し合わせ」の第 10 条が第 12 期(今年度)から施行され、著作の点数が 3 点以内となることが説明された。

7 報告事項

(1) 第 11 期(2021 年度)認定司書名簿及び審査(報告)(資料 6)

『図書館雑誌』5 月号に、第 11 期の特徴として、電子申請を採用し、リモートによる審査が行われたことが記された。

現在、認定証が有効な認定司書は、157 名

(2) 日本図書館協会 2021-22 年度役員選任について

代議員総会が開かれ、植松貞夫理事長が就任した。

認定司書事業を所管する担当理事は不在である。

(3) その他

従来、図書館総合展で認定司書事業のポスターを出展していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン開催となっているため、出展を見送りたい。

図書館司書専門講座、新任図書館長研修では登壇するので広報に努めたい。

8 協議事項

議案 1 第 12 期認定司書事業スケジュール

(申請受付、審査料及び認定料の納付期限、第 2 回審査会、その他)(資料 7)

第 1 回審査会は、7 月 17 日

認定更新の対象者には、7 月 30 日までに更新が迫っていることを通知

『図書館雑誌』10月号に募集案内
申請受付は、11月1日から30日
書類チェック作業は、12月中
第2回審査会は、1月8日
1月20日に常任理事会が予定されているため、このような日程となる。
審査結果通知を1月24日
異議申し立ては3月1日まで
認定司書名簿記載・公表は4月1日
『図書館雑誌』5月号に審査結果報告
認定書交付式は、6月上旬に予定している。

議案2 第12期認定司書審査の枠組みについて（資料8）

第11期と同様、依然として社会状況が不安定なので、リモートでできるようにしたい。

ただし、印刷物が増大したことと個人情報保護に課題があった。

提案事項

- ① 審査料の改定（7,000円→7500円）
- ② 著作数の改定（5点→3点）
- ③ 研修受講等記録票（項目数を最大25、自己研鑽の種別を選択、履歴書内の連絡先を別紙）
- ④ 書類チェック作業（印刷を行わず、デジタルで行う）

議案3 日本図書館協会認定司書審査要領の改正（資料4）

事業委員会に任せるとして審査会委員は全員承認。

議案4 申請書類の書式について（資料9-1、9-2）

事業委員会に任せるとして審査会委員は全員承認。

9 その他

認定されなかった方には、大谷委員長と糸賀審査会長が総括を作成し、送付した。